



# 『覚・求・徹』

～ 校長室だより ～

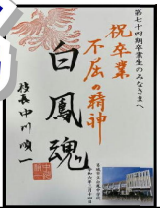
令和6年3月15日（金）

第15号

葛城市立白鳳中学校



## 第74回卒業証書授与式 ～155名の旅立ち～



3月14日（木）、葛城市長、阿古和彦様をはじめ多数のご来賓、保護者、地域の皆さまのご臨席を賜り、第74回卒業証書授与式を挙行了しました。柔らかな春の陽ざしの中、たくさんの方々に祝福され、式は肅々と進行了しました。

卒業生を代表して吉村さんが答辞で述べた「在校生のみなさん、私たちはみなさんにとっていい先輩だったでしょうか。みなさんは私たちにとって初めての後輩です。一緒に活動することは少なかったけれどこれからの、元に戻るのではなく、新しい白鳳中学校をみなさんに託します。みなさんの隣にいる大切な仲間と、先生方とそして、後輩たちとともによりよい白鳳中学校を創ってください。」の言葉。みんなでこの思いをつないでいきたいですね。

私からは式辞の中で、宮崎駿監督のアニメ映画「君たちはどう生きるか」の主人公と原作の小説の主人公が自身の弱さに苦しみ、闘い、葛藤しながらもそこから逃げずに立ち向かって行く姿から「自身の胸からわき出てくる感情を大切にしてください。」そして、「『不屈の魂』である『白鳳魂』を胸に抱き、大きな花を咲かせてくれることを念じています。」と伝えました。

卒業生、在校生代表として2年生のみんな、そして、先生方全員で合唱した式歌「旅立ちの日に」。温かな歌声と共に「卒業生155名の旅立ち」への一人ひとりの思いが会場いっぱいに広がりました。3年生の皆さん、卒業おめでとう！卒業生155名の「輝かしい未来」を心からお祈りいたします。



### 卒業生が学び舎に恩返し そして、地域に恩返し！

公立高校一般入試が実施された8日（金）、すでに進路決定をしている3年生が登校し、教室や廊下等の清掃活動を行いました。一般選抜に挑むなかまの学力検査が始まる時刻に登校。なかまの健闘を祈りながら、和やかな雰囲気の中、清掃活動が始まりました。

また、11日（月）には3年生全員でふるさと公園ルートと二上山登山ルートに分かれて地域奉仕作業に出かけました。たくさんのゴミを拾い、地域の皆さまへの感謝を込めての行事となりました！



### 3年生を送る会

3月12日（火）卒業式の練習に続いて3年生を送る会が行われました。先生方からの思いのつまった歌の贈り物や3年間の思い出スライドショーを3年生は堪能しました。



### 大阪教育大学より「学生インターンシップ」の実施

3月4日（月曜日）から3週間、大阪教育大学より5名の学生が「学校インターンシップ」活動を実施します。「学校インターンシップ」は、将来教員を志す学生が授業や給食、部活動等、教員の多岐にわたる職務を知り、子どもについての理解を深める制度です。本校の先生方、生徒と関わる中で多くのことを学んでくれることを期待しています。

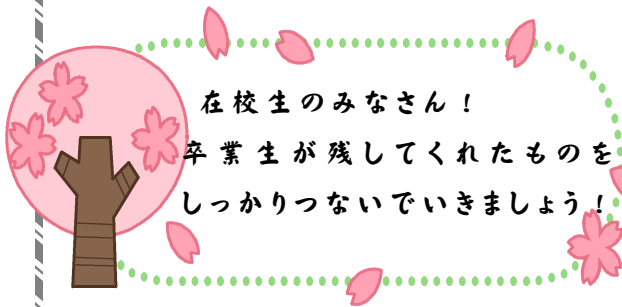


## 生徒機の「天板拡張器具」について取材がありました！

本校3年生の前生徒会役員、吉村さん、石田さん、窪田さんの3名が子ども議会で提案した「天板拡張器具」について毎日新聞、奈良新聞、奈良テレビから取材を受けました。本日15日(金)夕刻5:30より奈良テレビで内容が放映されます！

令和6年3月13日(水)

奈良新聞



在校生のみなさん！  
卒業生が残してくれたものを  
しっかりつないでいきましょう！

令和6年3月14日(木)

毎日新聞



葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。

### 中学生の要望実現

葛城市立白鳳中学校の3年生の前生徒会役員、吉村さん、石田さん、窪田さんが、子ども議会で提案した「天板拡張器具」について取材を受けた。本日は、奈良テレビで内容が放映されます。

葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。

## 机拡張、使いやすく

天板拡張器具を設置した机に座る葛城市立白鳳中学の元生徒会メンバー＝12日、同市長尾

「子ども議会」に向けて全校生徒460人から課題や意見を募集すると、机が狭いと感じる生徒が大半であることが判明。2、3年生の生徒会7人が意見をまとめ、3年生3人が代表して議会で発表。当時生徒会長だった吉村美空さん(15)が、学校環境について一般質問する中で「広い机」を要望した。

要望を受けた市は、早速市議会の12月例会で天板拡張器具1150台(予備を含む)の購入費453万2千円を25年度補正予算で計上。「要望を発表した中学3年生が卒業するまでに

使わせてあげたい」と24年度予算とせず、25年度内の設置を目指す。33年度内の設置を目指す。33年度内の設置を目指す。33年度内の設置を目指す。

自分たちの声が半年で実現し、吉村さんは「まさか」と驚きながらも「うれしかった」と笑顔。子ども議会の経験を経て「学校や街中など、身の回りを問題意識を持って見るようになった」といふ。

元生徒会書記(子ども議長を務めた窪田悠佑さん)は「自分たちは中学生で弱い立場と思っていたけど、意見を言ったら実現できる中の人なんだと実感した」。手応えを感じる一方で「子ども議会で元生徒会副会長の石田爽真さん

## 10センチ広げ勉強しやすく

葛城市の「子ども議会」で、市立白鳳中学校の生徒から、授業で使うタブレット端末に対応した広い机がほしいと要望が出された。市はこれを受け、机に取り付けることで面積を広げる天板拡張器具を今年2月から市立中学生2校に配備。議会に出席した生徒らは「まさか実現するとは思わなかった。机を広く使えて勉強しやすい」と喜んでいる。

【浜名音一】

### 白鳳中生「タブレット端末置くと机狭い」

子ども議会には、白鳳会役員(当時)の3名が出席した。白鳳会役員(当時)の3名が出席した。白鳳会役員(当時)の3名が出席した。

### 子ども議会で要望 市内中学に器具配備

「まさか実現するとは」

「まさか実現するとは」

「まさか実現するとは」

## 10センチ広げ勉強しやすく

葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。

葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。

葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。

葛城市は市制20周年に向けて昨年夏に開いた「子ども議会」で、「タブレット利用で机が狭く使いにくい」と広い机の要望があったことを受け、2月下旬までに市立中学2校で、机の奥行を10センチ拡張する天板拡張器具を設置した。生徒からは「広々として勉強しやすくなった」と喜びの声が上がっている。